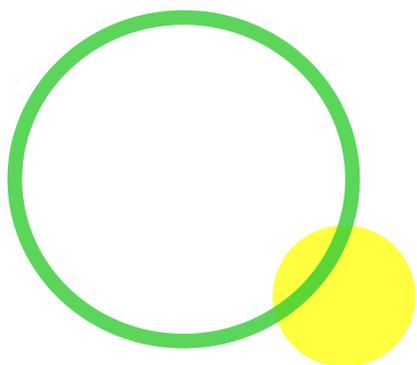


# 病院案内



鶴岡協立リハビリテーション病院

## 院長ご挨拶



鶴岡協立  
リハビリテーション病院  
院長 茂木 紹良

2001年6月に現在地に新築移転後、患者様や組合員の皆様、地域の皆様のご理解とご協力により、リハビリテーション医療・介護活動に取り組んでおります。

当院の医療理念を実現するためには、医療の質や内容、体制等を充実させ、また、多くの方々との連携も強化しなければならないと考えております。

皆様のご期待に応えるべく、役職員一同研鑽を重ねる所存でおります。ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 理念

障害があっても人間としての尊厳を持って生きることがを支援する  
リハビリテーション医療・介護をめざします

## 基本方針

- 1 「住み続けられるまちづくり」をリハビリテーション医療・介護の分野で進めます
- 2 安全・安心のリハビリテーション医療、介護を実践します
- 3 患者様の人権を尊重します
- 4 医療の質の向上をめざします
- 5 生活の質の向上をめざします
- 6 無差別平等の医療・介護の実現をめざします
- 7 地域リハビリテーションを推進します
- 8 社会保障の拡充と平和な日本をめざします



# 患者様の権利宣言

## 1 知る権利

病名、病状（検査の結果を含む）、予後（病気の見込み）、診療計画、処置は手術（選択の理由、その内容）、薬の名前や作用・副作用、必要な費用などについて、納得できるまで説明を受ける権利。セカンドオピニオンを受ける権利。

## 2 自己決定権

納得できるまで説明を受けた後、医療従事者の提案する診療計画などを自分で決定する権利。

## 3 プライバシーに関する権利

個人の秘密が守られる権利及び私的なことに干渉されない権利。

## 4 学習権

病気やその療養方法および保健・予防について学習する権利。

## 5 受療権

いつでも必要かつ十分な医療サービスを、人としてふさわしいやり方で受ける権利。医療保障の改善を国と自治体に要求する権利。

## 6 参加と共同

患者様みずからが、医療従事者とともに力を合わせて、これらの権利を守り発展させる責任。



## 医療生協加入のお誘い

医療生活協同組合やまがたは保険予防活動を重視し、健康でいきいきと暮らし続けるために、班会・地域での健康チェック活動や健診事業、予防接種、メディカルフィットネスV i v i dでの健康増進活動など、「地域まるごと健康づくり」を推進しています。病気の治療だけでなく、その後のリハビリテーション、介護まで切れ目のない保健・医療・介護サービスの提供を目指し、これまで様々な活動をして参りました。また、差別のない平等な医療の提供を掲げ、入院差額室料は設けず、無料低額診療の提供も行っています。

医療生協の病院や介護施設等は地域の方々からのお声で、組合員の皆様からお預かりした出資金をもとに建てられたものです。医療生協はこれからも組合員の皆様とともに、この地域で、高齢であっても、障害があっても、住み続けられるまちづくりを進めていきます。

まだ医療生協に加入されていない方は、この機会にぜひご加入をご検討ください。



## 診療案内

月～金 9:00～12:00

※ 完全予約制

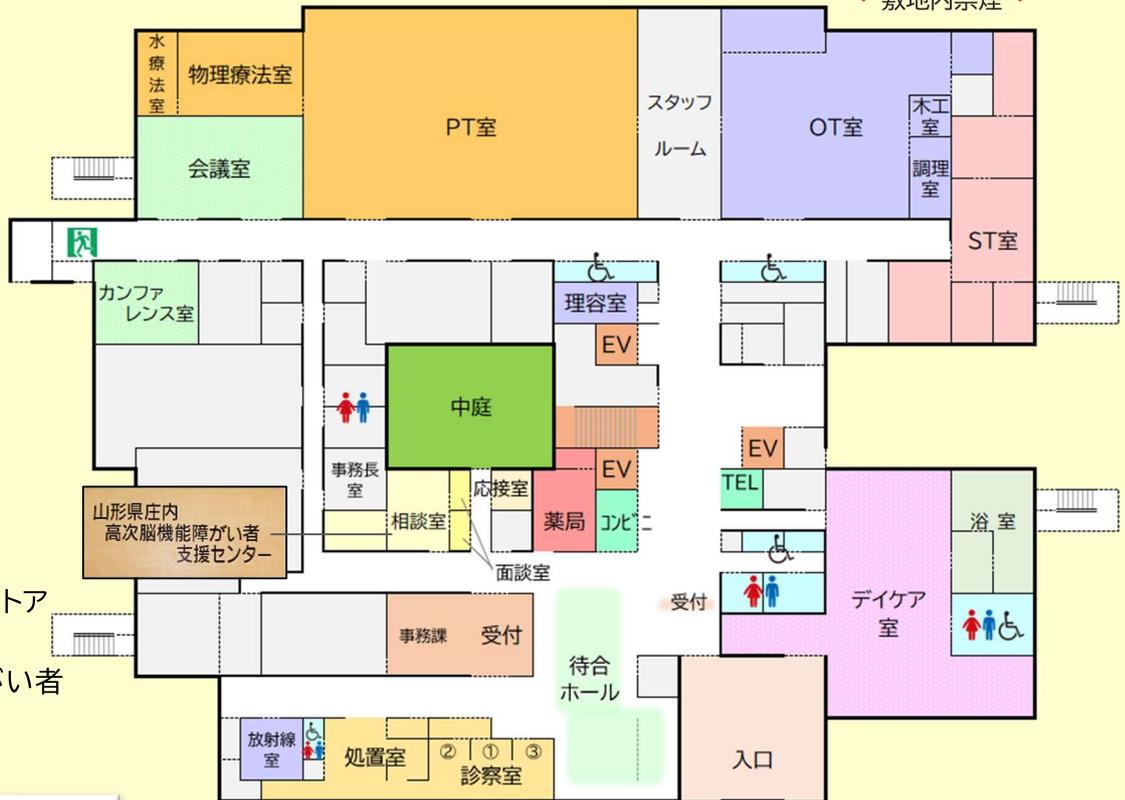
- リハビリテーション科
- 内科 ● 神経内科



PT室

・敷地内禁煙・

- ◆ 受付
- ◆ 診察室
- ◆ 処置室
- ◆ 薬局
- ◆ 放射線室
- ◆ PT室  
(理学療法室)
- ◆ OT室  
(作業療法室)
- ◆ ST室  
(言語聴覚室)
- ◆ デイケア室
- ◆ 理容室
- ◆ コンビニエンスストア
- ◆ 相談室
- ◆ 高次脳機能障がい者  
支援センター



## 山形県庄内高次脳機能障がい者支援センターのご案内

2011年7月山形県より委託を受け開所。脳卒中や脳損傷等により、言葉や記憶、空間認知などの複雑な脳の機能に障がいが出る高次脳機能障がいの専門的な診断・評価、リハビリテーション、支援を行います。

営業時間：月～金（年末年始、祝祭日は除く） 9：00～17：30

窓口：医療相談室

※相談は予約制になっております。電話にてご連絡ください。TEL：0235-57-5877

## 専門外来

◆ 嚥下外来 ----- 火 15:00~16:00

飲み込みに問題がないか確認する検査を行い、  
その方に合った食事の形態や姿勢等を評価します。



◆ 装具外来 ----- 金 10:00~12:00

下肢装具の修理や作製を行います。



◆ 小児ボツリヌス外来 ----- 第1金 9:00~12:00

小児を対象に、「ボツリヌス注射薬」を用いて、脳卒中の  
後遺症や脊損・脳性麻痺などでおこる筋痙縮を治療します。

◆ ボツリヌス外来 ----- 第2・4金 9:00~12:00

「ボツリヌス注射薬」を用いて、脳卒中の後遺症や脊損・脳性麻痺などでおこる筋痙縮を治療します。

◆ 高次脳外来 ----- 第2金 9:00~12:00 / 13:30~15:00

高次脳機能障がい専門的な診断・評価、リハビリテーションを行います。

## (介護予防) 訪問リハビリテーションのご案内

在宅で療養を行っている方で、通院してリハビリテーションを受けることが困難な方に対して、理学療法士等が自宅に訪問し、状況に応じたリハビリを行うことにより、より良い生活を送ってもらうための支援サービスです。



自宅(ベッド周囲)  
でのリハビリ

営業時間：月～金（年末年始、祝祭日は除く）

9：00～17：30

窓口：訪問リハ担当



## (介護予防) 通所リハビリテーションのご案内

ケアプランに基づき、障害を持つ方や高齢者の方々が日常の生活動作や歩行などの能力の維持、向上を図りながら、「日々の生活の中で、ご自分でできることを新たに見つけること」「利用時だけでなくご自宅や地域で続けられる楽しみ作り、生きがい作り」を重視したリハビリテーションを実施しています。天神祭やクリスマスなどの季節行事、お買い物ツアーやお花見ドライブなどの外出レクリエーション、リハビリ技士による学習会などを行っています。



レクリエーション  
(ボッチャ)

営業時間：月～金（年末年始は除く）9：00～17：00

利用定員：70名

窓口：デイケア室



外出レクリエーション  
(お花見ドライブ)

回復期リハビリテーション病棟は「脳血管疾患」または「大腿骨頸部骨折等」の患者様に対して、日常生活動作能力の向上と、在宅復帰、職場復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行う病棟です。

◆ 2階北病棟 ◆ 52床  
回復期リハビリテーション病棟

個室 2 ・ 2床室 1 ・ 4床室 12



◆ 2階南病棟 ◆ 52床  
回復期リハビリテーション病棟

個室 2 ・ 2床室 1 ・ 4床室 12



## 全職種の力を結集して 回復の支援を行います

障害の出来る限りの改善を図り、  
退院後の生活を見据えた日常生活動作  
(食事・排泄・着替え・入浴など)の集中的なリハビリに取り組みます。

医師、看護師、介護士、セラピスト(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)、  
ソーシャルワーカー、管理栄養士などの多くの専門職種が  
チームとなって支援し、自立を目指していきます。



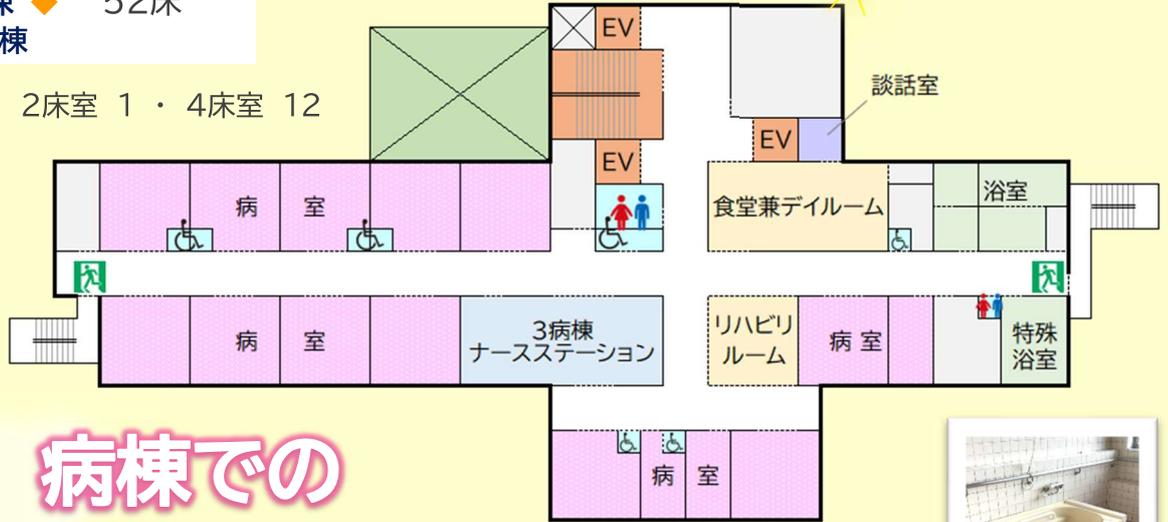
ベッドサイドカンファレンス、リハビリ検討会、  
排尿・歩行等 各種カンファレンスを多職種で行っています。  
患者さんの意見を聴きながら患者さんの状態を確認し、  
今後の治療・ケア方針について話し合います。

カンファレンスの結果はスタッフで共有し、  
患者さんの回復をサポートしていきます。

療養病棟は急性期の治療やリハビリテーションが終わった後に、医学的な管理のもと、継続的な療養を必要とする方が入院する病棟です。

◆ 3階病棟 ◆ 療養病棟 52床

個室 2 ・ 2床室 1 ・ 4床室 12



## 病棟での生活動作訓練を重視します



毎日、朝・夕に着替えを行い、退院後の生活に向けて、起きて生活する習慣を整えます。家に帰ってもベッドから離れて生活することを目指して他職種で協同し、患者さんの活動性や自立を促すように考慮したケアを提供しています。また、個別のリハビリ以外にも、趣味活動やレクリエーション、体操などの集団訓練を行います。

### 個別訓練



■ 理学療法訓練



■ 言語訓練



■ 立ち上がり訓練

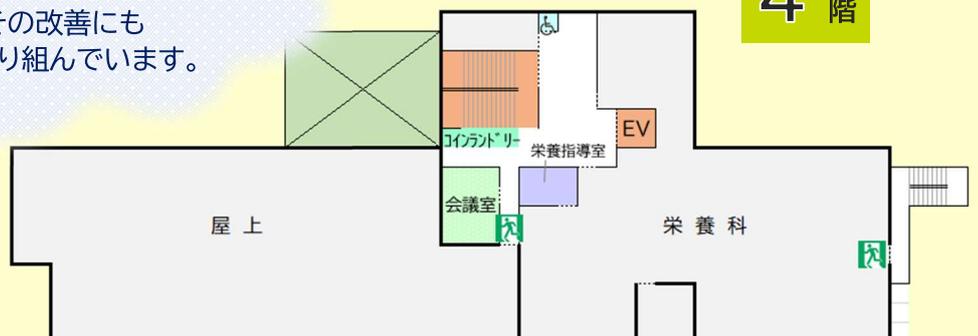


■ HAL®を用いた歩行訓練

当院では摂食嚥下訓練に力を入れています。飲み込みに障害がある場合は患者さんに合った食形態、姿勢での食事提供を検討します。リハビリテーションを行う上で、栄養状態も大事な要素です。栄養状態を判断し、その改善にも取り組んでいます。



側臥位での食事風景



# 医療生活協同組合やまがた 鶴岡協立リハビリテーション病院

〒997-0346 山形県鶴岡市上山添字神明前 38

TEL:0235-78-7511

FAX:0235-78-7515

URL:<http://y-mcoop.com/rehabili/>



当院は日本医療機能評価機構 認定病院です



日本医療機能評価機構  
認定第 JC2585 号